

源氏日報

歴史講座

平家物語



四つ足、馬も四つ足」という言葉とともに、ヒヨドリしか降りられないような絶壁を騎馬で駆け下り、平氏軍の背後から急襲を仕掛けたのです。

形だったことから、もつとも堅牢な陣地といえます。そのため、平氏は防衛に絶対的自信を持っていたのです。

平家の陣を源氏が東西から挟撃し、停泊中の船ごと壊滅させた一ノ谷の戦いは、開戦からわずか2時間ほどで勝敗が決しました。この敗戦で平通盛忠度以下、一族の多くが戦死、清盛の子重衡も須磨で捕らえられます。

この一ノ谷の戦いで平氏軍は敗戦。その後の寿永4年の「屋島の戦い」、平氏滅亡となる「壇ノ浦の戦い」へと続いていくこととなります。未来を知っていると云うことは意外と実況するのに便利ですが、ん？、何やらさな臭い雰囲気、どんよりとして流れます。

一ノ谷の戦いによる後白河上皇と義経の急接近は、のちに頼朝と義経の兄弟の仲を引き裂くものとなってしまいました。この戦いは、ついには義経追討にまで至ってしまう兄弟の不和のきっかけとなった戦いだったのです。

さて、今日は平安時代にタイムスリップし、現地から生中継したいと思います。

訪れ、後白河法皇から和平勸告が出たことが伝えられると、これを信じた平氏軍は油断してしまいました。とはいえ、戦いが始まったものの、源氏軍は、堅固な陣を敷く平氏軍をなかなか攻め落とせずいます。お一つとここで、源義経は、僅か70騎を率いて険しい山中の「馬すべり通れな」と言われる難路を進みます。地元の猟師から聞いた「鹿も

しかし、合戦の前日、平氏軍のもとに後白河法皇の使者が訪れ、後白河法皇から和平勸告が出たことが伝えられると、これを信じた平氏軍は油断してしまいました。とはいえ、戦いが始まったものの、源氏軍は、堅固な陣を敷く平氏軍をなかなか攻め落とせずいます。お一つとここで、源義経は、僅か70騎を率いて険しい山中の「馬すべり通れな」と呼ばれているほどです。

特に、熊谷直実に殺された平敦盛の伝説は有名です。17歳の美少年であった敦盛と一騎打ちした直実は、我が子と同じ年頃であった敦盛を憐れに思い逃そうとします。しかし、他の源氏の武者から逃れることはできまいと、首を泣く泣く切りました。戦いの後、直実は武家の無情を悟り出家、高野山で敦盛を供養したと伝えられています。この事件に

ついでに次号で特番を組み、西に重きを置かれていました。詳しくお伝えしたいと思えます。そして、敗戦を悟った総帥・平宗盛は、安徳天皇や建礼門院安徳天皇の母、また平清盛の娘を連れ、讃岐国の屋島に敗走したのでした。これにより、平氏の京都奪還の企図は頓挫した事になりました。

いたため、義経の任官にこれまた激怒。なぜなら、関東の武士の独立を目指す頼朝らにとつて、朝廷の権力は距離を置きたいものであり、その朝廷からの任官は東国武士の結束がゆるぎかねないからです。そのため、規則を破った義経は平氏追討から外されてしまった。

津と播磨の境にある「一ノ谷」は、背後に峻険な山峰を連ねて入口が狭く、海上を平氏の軍船が制し、平氏が陣営を構築した一ノ谷は、前面に海、背後には絶壁の崖が迫り、東側は陣営、西側は細い道が一本通っているだけの閉鎖的な地形

福原の地は、北側は山に囲まれ、南は瀬戸内海が広がっています。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

通っているだけの閉鎖的な地形

福原の地は、北側は山に囲まれ、南は瀬戸内海が広がっています。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

源平天下分け目の戦いと評される一ノ谷の戦い。この戦いでは、源義経の「鶴越の逆落とし」と呼ばれる奇襲戦によって源氏が大勝し、それまで栄華を極めた平氏が、滅亡に向かうきっかけとなるもので、源平合戦を語る上で外すことができない、重要な合戦だともいえます。

